

～ Serving the Community and Supporting the YMCA since 1976 ～



埼玉ワイズメンズクラブ

Saitama Y's Men's Club

月間テーマ：What did we achieve?

2024年
6月



2023-24 年度 クラブテーマ「地域と繋がろう・地域に知らせよう」

東日本区大会@十勝
2024. 5. 31 ~ 6. 2
ハイライト



全国から 320 名のメン・メネット、ユースが参集。諸会議、バナーセレモニー、メモリアルアワー、晩餐会、ソーラン節、西村淳氏（南極調理師）講演と十勝の美味など豊富な献立。またワイズネットが広がったぞ！

今月の聖句

「神はみこころのままに、あなたがたのうちに働いて志を立てさせ、事を行わせてくださる方です。すべてのことを、不平を言わずに、疑わずに行いなさい。」

(ピリピ人への手紙 2章 13-14)

7月「Kick Off」例会

日時：7月 未定
会場：市民活動サポートセンター（浦和パルコ9階）
プログラム：新年度の活動を話し合おう・入会式

7月 夜談会

日時：7月8日（月）午後6時～8時
会場：サイゼリア（浦和駅東口）
・気楽に知り合い、見識を深める拓けた大人の会

第27回東日本区大会 感想風 メモ

十勝・帯広市で開かれたこの区大会は一昨年に同市で予定されていた大会がコロナ禍でオンラインになったリベンジでもあった。「とかちプラザ」とホテル日航ノースランドを会場に熱気溢れる大会が催された。埼玉クラブからは衣笠メンと浅羽会長が出席した。以下二人の簡単な報告を掲載する。

◆「ユースの集い」に出席して

衣笠輝夫 メン



2024年6月1日(土)とかちプラザで大会初日の午前の部で「ユースの集い」が開催された。昨年の第35回ユースボランティア・リーダーズフォーラム(YVLF)に参加した油井達海(たっつー)リーダー(北海道YMCAスタッフ)と菅 遙香(はる)リーダー(札幌YMCAリーダー)から話をゆったりとした時間の中で聞いた。YVLFのテーマ「私たちにとって 見つかる・つながる・よくなっていく」のもとに社会的課題をYVLFで聞き・考えたことを、地元の北海道YMCAに戻り、それを「SDGs ユースアクション」に結びつけ、具体的な活動をチームとして始めたとのこと。



「SDGs ユースアクション」のテーマは「グッズドライブ」。「フードドライブ」の衣服版といったものだろうか。

これまでの見方を変えて自分の持っている古着との交換という形で行うことで、恵んでもらうというネガティブな意識を持つことなく、気持ちを高める交流の場を創造したいと、明るくポジティブな姿勢で語ってもらった。貴重な話を聞かせてもらいました。

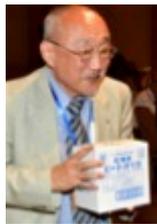
司会は若いワイズメン水越正高氏(甲府21)。他は宮崎善昭氏(札幌)、村野 繁氏(東京世田谷)、飯野毅与志氏(東京サンライズ)、板崎淑子氏(鎌倉)、小口多津子氏(東京八王子)、衣笠の7名。❖



* 写真は「ユースの集い」の様子と午後の部で「ユースアクション報告」で発表する はるリーダー

◆「楽しい」から「嬉しい」へ

浅羽俊一郎 メン



5月末日。十勝帯広空港に降り立つと、肌寒さが身にしみた。久しぶりに遠くまで来たと感じた。東横インにチェックインして街中を歩くと空の大きさと人混みの無さにホットさせられる。

6月1日登録。ロビーを見渡すと懐かしい顔があちこちに。ワイズダムでは世界各地にいるサービス精神と爽やかなユーモア感覚の仲間とつながれるし、すぐ親しくなれる。こんな団体他に知らない。

早速「代議員会」で今後の方針・財政や理事候補に関する議案の説明。厳しい財政事情についてきつい意見が出た。審議不十分なまま閉会。各クラブで協議する必要があると思う。



* 隣席の青木満里恵メン(石巻広域)から3.11後の地域社会の崩壊・女性差別の現状を聞かされる。

大会開会。バナーセレモニーでは当クラブの紛失したバナーを代用紙で乗り切った。市長挨拶、ユースの地域活動やYMCAの能登地震現被災者支援活動などが続き、講演は南極基地コックだった西村淳氏が最極寒での男どもの生活と教訓を披瀝。名物の大晚餐会はホテルノースランドで。ショパンのピアノ曲で始まり、食べて飲んで、ユースと一緒にソーラン節で盛り上がる。夜のフェローシップ・アワーはグッと少人数。ビンゴゲームと親睦を楽しむ。



* 西日本区から60余名参加。来夏熊本市で開催されるアジア太平洋地域大会をアピール。

翌朝の礼拝は予想外に多くが参列。日本キリスト教会帯広教会の竹井 剛牧師は開拓民の苦勞と信仰について語る。私の義父が戦後置戸で酪農を始めた頃の苦勞話を思い出す。礼拝後「四つ葉乳業」工場

とスイーツの「柳月」を回る。午後、私は飯野メン（東京サンライズ）と帯広美術館「星野道夫写真展」へ。夜は一人市内散策。居酒屋のカウンターで青年が話しかけてきた。京都から出張中と。するとそばにいた地元ご夫妻が「一期一会」と話しかけ、さらに地元青年も話してきた。ここには隣席の他人同士が話せる本来の居酒屋があった。帰り際京都青年に言われた「おじさんよく喋るね」（笑）

ワイズダムに繋がる歓びを満喫した。ホスト十勝クラブ（山田敏明実行委員長）に感謝する。街を去る日も肌寒かったが、心はホカホカだった。後日名簿で確認したところ、出席者 320 名中 133 名の顔と名前が一致。我ながら満足。あの時の体験は今も嬉しい思い出となって心に納めてある。❖

* 1 頁に写真を一部掲載。雰囲気を感じて欲しい。

活動・会議メモ

◆ 6 月夜談会

今月 10 日の晩浦和サイゼリアでよる談会を開催。堀和メンが例年通り今夏も 8 月には広島市へ千羽鶴を 7、8 千本届けるという。そこで話は届けられた千羽鶴はその後受け取った側はどうするのか、という話に発展。（後で確認したところ、以前は焼却していたそうだが、今は市民がリサイクルするなど、色々工夫して平和を願って贈ってくれた人々の祈りを大切にしている、ということ。）



大西美江さんが参加してくれた。今本格的に取り組んでいる子ども食堂「夢はうす」の運営について語ってくれた。子ども食堂はいまや各地にあるが、一つひとつ異なる課題に対して有志たちは熱意と工夫で取り組んでいる。大西さんの活動をこれからも応援しよう。

出席（写真左から）：堀和・大輪・大西・浅羽・上松・上松絵理（敬称略）

◆ 6 月定例会

15 日午後 2 時から浦和パルコ内の市民活動サポートセンター（以下「サポセン」）で開催。対面で上

松、衣笠、浅羽の 3 氏と、ズームで水無瀬メンがリモート参加。少人数だったが久しぶりに色々と議論することが出来て満腹気味。ワイズの醍醐味はイベントやボランティアを実施し、合間に親睦するだけでなく、時には真剣に議論することだ。頭の体操なんてレベルではないのだ。

今回取り上げたテーマの要点を記す。

1) ワイズメン同士の繋がりが深まらない。

折角各地から大勢参加し交流を深める良い機会になりうる区大会も、セレモニー・講演会・晩餐会とエクスカージョンで日程が埋まるが、肝心の人と人がじっくり知り合う機会がない。ホストクラブはアトラクションに力を入れ、それを楽しみにしているメンもいよう。しかし、それとは違う中身を期待しているメンがいることも知るべきだと思う。

2) さいたま市に YMCA を作ろう。

さいたま市に新たに YMCA を作ろうという運動を起こそうというのであれば、埼玉クラブこそその発起に当たる立場にあろう。どんな活動をするかも大切だが、それ以上にその祈りを形にしていこうという仲間や人財を募っていく必要がある。その過程を通して新しい YMCA 像が見いだせると思う。

3) ジェンダー学習

教会でもジェンダーの問題が取り上げられるようになり、学習する動きがある。クラブとしてはもうしばらくこのテーマで続けよう。

以前提案のあったオンライン公開学習についてはまずは近隣のクラブや関心のあるメンに声をかけしよう。リソースパースンとして浅羽メンから元西日本区ワイズメンの長尾ひろみ氏（「せとうちアカデミー」学長）と広瀬頼子氏（奈良女子大）と交渉中との報告があった。実施時期は未定。



* 6 月例会解散後、借りたばかりの「メールボックス」の前でポーズ。事務局の職員に撮ってもらう

4) クラブの新バナー作成の件

浦和 YMCA 閉鎖の引越しの中でバナーが紛失し、探したが見つからないので新しいバナーを作ることにする。本物は高額なので、生地もしっかりした T シャツの上にプリントすることを検討。原俊彦メン（富士五湖）にデザインと印刷を相談することに

した。部大会までには間に合わせたい。衣笠メンを中心にこのプロジェクトを進めていく。

5) 新会員

以前例会で卓話をし、ブリテンにも寄稿して下さった浦野都光(くにみつ)氏に浅羽会長からクラブ入会について打診していたが、この度7月に入会する方向で確認が取れた。ついでに定例会(日程未定)にて入会式を執り行いたい。

6) サポセン・メールボックス

ここ当分定例会をパルコ9階のサポセンで開くことになったので、小物備品や資料を収納できる小型ロッカー「メールボックス」をサポセン事務局から借りることにした。6月から来年3月までで税込1,000円(月100円)。「A 14」が当クラブのメールボックス。解錠には暗証番号が必要。(浅羽 記)

◆ 木村利人氏 特別講演会



去る6月22日所沢YMCAにて『幸せなら手をたたこう』誕生物語」と題して、元恵泉女子大学学長の木村利人氏の講演会が開催され、ご自身の生き方を変えたYMCAフィリピンワークキャンプでの地元青年との出会いを熱く語られた。川越ワイズ主催、所沢・埼玉ワイズ共催。上松、衣笠(司会)、浅羽(歌伴奏)で協力。(写真中央が木村利人氏)



◆ 今月の俳句 堀和光二郎メン(俳号 愚道)

① 美女柳回覧板を配る家

美女柳は未央柳ともいいますが、葉が柳に似ています。梅雨時に咲く黄色と長い雄蕊が特徴です。回覧板を持って行く広い庭のお家です。

② 見守りしかまきり生まる玄関前

蟻螂の生まれるところをみたことがありますか?生まれたばかりの赤ちゃんも同じように鎌を持っていますよ。

③ 今日も晴れ水をくれつつ人恋し

暑い夏の朝、小鉢に水をやっていて何故か人恋しくなるのは私だけかな?

◆ 水無瀬メン

今月の聖句(1頁)について。クリスチャンは、神を信じれば必ず従順に従いたいと願いますが、やはり人間的弱さゆえ「疑惑」と「信仰」の狭間で心が動揺する折があります。でもこの御言葉で、全てのことを不平を言わず疑わずに行いなさいと励まされます。導きにより祝福の道を御心のままに志しを立て、歩まされる事を確信させて下さるとは何と幸いな事でしょう。律法的に思われますが、感謝させられる御言葉です。

◆ 伊藤メン

先月白内障の手術が無事終わりました。しばらくは大人しくしています。

◆ 浅羽メン

先日早稲田の「伊丹亭」にて年初急逝された小山憲彦メンを偲ぶ会に出席しました。40人もメン・メネットが遠路はるばる参集。私を色々助言し、叱ってくれた良き先輩でした。ワイズダムを「こよなく愛した」とはまさに彼のことでした。(R.I.P.)

今後の主な予定

• 関東東部評議会

7月20日@川越ウェスタ

• 国際大会

8月8日~11日@タイ・チェンマイ市



統計	出席	会員	ゲスト/ビジター
夜談会(6/10)	6	3	3
月例会(6/15)	4	4(一人ズーム)	

ワイズメンズクラブ 紹介とメンバー募集

ワイズメンズクラブ国際協会(Y's Men International)は世界最大の青少年団体YMCAを支援する社会人・成人の奉仕クラブの集まりであり、若者の自立と生き生きとした地域作りを目指す国際団体です。政治信条・性別・肩書きや年齢差に関係なく国内外の交流も進めています。日本では1929年に大阪で最初のクラブが設立。埼玉クラブは浦和区を拠点に活動しています。ボランティア活動、国際協力、青少年育成、人と繋がることに関心があり、責任感のある方は年齢・性別に関係なく募集しています。例会日の見学もできます。宗教団体などではありません。

詳細は埼玉クラブ会長 浅羽まで。(090-7426-5553) または Y's Men International 東日本区の下記 URL をご参照ください。

<https://ys-east.or.jp/#gsc.tab=0>